

## 平成28年度社会福祉法人愛信会事業計画

社会福祉法等の一部を改正する法律が28年4月より施行されます。その内容は、社会福祉法人制度について経営組織のガバナンスの強化や、事業運営の透明性の向上、介護人材の確保を推進するための措置等について改革が具体化される事になります。今後も社会福祉法人が福祉サービスの担い手として、また地域のセーフティネットとして役割を果たすためにも自覚を持った実践が重要になりました。

「皆で支え合う」理念の基に介護保険制度が始まりましたが、昨年「一億総活躍社会」の提言がなされ、介護離職ゼロを目指す取り組みも示されました。しかし介護現場は離職ゼロが重要であり、人材確保に翻弄する実情に、健全経営とは言い難いものがあります。改めて地域に根差す、地域の拠りどころ、地域における拠点法人として経営基盤・組織強化を更に進め、社会福祉法人の役割と存在意義を実践を通じて社会に対して発信していかねばならない。

### I. 重点目標

- (1) 新卒者採用、定期採用を推進し人材確保の強化を行い、人事交流による職場の活性化、各事業所の安定運営に努めると共に、働きがい・やりがいを自覚できる職場環境を構築する。
- (2) 地域貢献活動と社会福祉法人としての使命に基づき、情報公開及び低所得者に配慮した活動や地域のさまざまな福祉課題への取り組みを推進する。また、地域ケアシステムを見据えた在宅介護サービスを、施設と地域で協働できる体制づくりに努める。
- (3) 利用者の重度化・看取り介護及び認知症ケアに対応できる科学的で専門性の高い介護職員の養成と介護の質の向上体制を整備する。また、看護職員と介護職員の連携による医療的ケアの実施に於いて、適切な対応が出来る職員の育成を継続する。
- (4) 大規模広域災害を教訓に法人事業所間での情報を共有し、災害時における組織の整備と災害時の事業所間相互援助体制の確立に取り組む。また、地域の防災拠点となるべく準備を進める。
- (5) 新人事制度の導入・導入後の検証及び賃金制度の検討
- (6) 荃崎地区に開設したユニット型特養いちょうの木の早期安定運営に努める。

### II. 法人中期計画

#### (1) 運営方針

- ①法人の経営理念に添って事業を推進する。
- ②地域ニーズの調査、ニーズに即した総合的、一体的、効果的なサービスの提供、先駆的事業への挑戦及び低所得者対応等社会貢献事業を推進し、公益性を高める。
- ③地域住民や社会に対し広報誌の定期発行他積極的な情報公開を推進し、愛信会の理解促進に資する。
- ④公益性を担保する財務規律及びガバナンスの確立のため、会計監査人を設置する

## (2) 収支計画

- ①施設入所・在宅サービスの効率的運営による稼働率の向上で適正利益を確保し、経営基盤の強化を図る
- ②市町村他関係機関及び法人内事業所との連携強化を行い、在宅サービスの利用拡大を図る。
- ③法人内各施設の連携によるケアハウス、グループホーム等の利用者の確保

## (3) 人事計画

- ①新人事制度の導入及び導入後の検証
- ②介護福祉士等専門職養成の強化（資格取得の支援）
- ③計画的な研修体系の構築及び積極的な参加によりスキルアップを図る
- ④計画的な人事異動ができる取り組みを行う
- ⑤障害者雇用の促進及び生活困窮者に対する就労支援の取り組み

## (4) 施設設備計画

- ①特別養護老人ホーム静霞園の施設設備老朽化対策  
施設開設後40年の平成33年を目途に施設建て替えを計画し、施設設備整備積立金を継続する。
- ②ケアハウスポプラ館の施設設備等経年劣化対策（開設後20年経過）  
施設開設時借入金償還完了後の平成28年度から、管理費収入の一部を施設設備整備積立金として積み立て、大規模修繕に充当する。
- ③特別養護老人ホームくきの里の施設設備等経年劣化対策（16年経過）  
施設開設後20年の平成32年を目途に施設内外の大規模修繕を計画し、施設設備整備積立金を継続する。  
※平成27年度から「愛信会建設準備委員会」を設置し、施設設備計画を法人全体で総合的に検討開始する。

## (5) 財務・資金計画

施設設備整備費積立金の継続的実行により、自主財源の確保・財源基盤の強化を図り、将来の施設設備整備費に充てる。

## (6) 職員行動指針

- ① 法人の経営理念・事業計画に沿って事業を推進する
- ② 利用者の自己決定と選択を尊重する
- ③ 個人の尊厳に配慮した高品質・安心安全なサービスの提供に努める
- ④ 外部・内部研修への積極的な参加により専門性の高い介護の実践に努める
- ⑤ コンプライアンスの徹底
- ⑥ ムダ・ムラ・ムリの排除（経費の削減・業務の標準化・事故防止）と報・連・相の実践
- ⑦ 同僚（法人全職員）への感謝、気遣いを忘れずに持ち続ける